



散水車も完備されていたが当日はウェット路面。これが奏功して車両へのダメージもミニマムでレッスンすることができた。ヘルメット不要というハードルの低さも、参加しやすさを後押ししてくれた



スポーツカーを楽しむ方法 | **GR** の最先端

豪華講師と夢のマンツーマン テールスライドの基本から学べる 上達応援プログラムが誕生

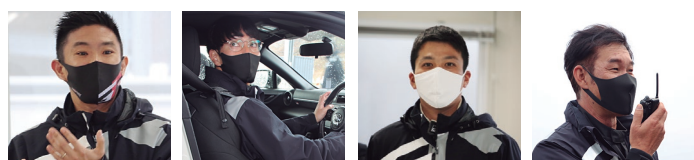
TOYOTA GAZOO Racing Driving experience
GR86オーナー専用スライドコントロールProgram

富士スピードウェイ マルチバパスコース 2022.12.22

せっかく手にしたFRスポーツなのだから
その持てる性能を骨の髄まで味わいたい。

安全に配慮されたクローズド環境で、日常ではありえない領域で
愛車をコントロールする操作を学べる画期的なプログラムが胎動中だ

文●畑澤清志 写真●増田貴広(本誌)



井口卓人選手

「サイドターンやカウンターステアが思った通りにできるようになった際の笑顔が印象的でした。もっと笑顔を作っていきたいです」

松井孝允選手

「1日皆さんと過ごして、やっぱりFRレイアウトは楽しいということを確認しました。ぜひGR86の魅力を発信してください」

蒲生尚弥選手

「クルマを操る難しさとお楽しさの両方を体験できるのがこのプログラムです。もっと皆さんの皆さんに体験してほしいと思います」

高橋 滋選手

「皆さんがメキメキ上達していく姿が見られて、とても教えがいがありました。機会がありましたらぜひ継続して練習してください」



参加者は厳選された14名の少人数制。うち2名はプログラムを自ら体験しクルマの楽しさをお客様に啓蒙するべく参加した、意識の高いGR Garageのコンサルタントが含まれていた

帰る頃には別人のように成長していた参加者の皆さん



「5000rpmまで回してクラッチをつなぐ180度ターンでは思い切りが必要でしたが、できたら感動でした」(長沢 忍さん)

「今回は初めてのサーキット走行でした。サイドブレーキでの車両コントロールはとて勉強になりました」(裏辻 隼さん)

「有名ドライバーに自分の運転をほめられるとうれしいですね。これで公道での走り方も変わると思います」(小寺祥一さん)

「クスコRS(2WAY)を装着して参加しました。右旋回が苦手なのが理解できたので重点的に練習しました」(島崎裕一さん)

講師陣は井口卓人選手、松井孝允選手、蒲生尚弥選手、高橋滋選手というTGRゆかりの豪華キャストだ。さらに星のようなスタードライバーたちにマンツーマンでレッスンを受けられるという至福の時間が流れた。今回はトリアルとしての実施で、GR86オーナー限定の募集だったが、3時間以上に及んだ濃密なレッスンの成果は、参加した皆さんの輝いた目が物語っていた。ぜひ次回の開催に期待してほしい。

カリキュラムは初心者から上級者まで、ベシックプログラムと、サーキット経験のある方を中心としたアドバンスプログラムというふたつの軸としてきたが、このたび新たに「スライドコントロールプログラム」が実施された。

プロデュースしたのは佐々木雅弘選手。自身のドリフト経験をベースにステップ1〜5までの5段階のスキルアップメニューを考案。ステップバイステップでテールスライドを自在に操れるよう上達できるプログラムは、いざというときの安全な緊急回避と非日常のスリリングな興奮を同時に体験できるという画期的な内容だ。

カリキュラムは初心者から上級者まで、ベシックプログラムと、サーキット経験のある方を中心としたアドバンスプログラムというふたつの軸としてきたが、このたび新たに「スライドコントロールプログラム」が実施された。



1枠30分なのでトレーニング時間もたっぷり。講師からの指示は無線で飛んでくるのでその都度、修正を反映できるので上達も速い